

News Letter

八頭町がオーガニックビレッジ宣言！

令和7年10月19日、八頭町の八東総合運動公園屋根付多目的広場において、「八頭町マルシェ2025」が開催されました。

例年、八頭町の旬の野菜や果物、特産品が集結して賑わうイベントですが、今年はそれに併せて「オーガニックビレッジ宣言」が行われました。

オーガニックビレッジとは、有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取組を進める市町村のことをいい、農林水産省が先進的なモデル地区を順次創出し、横展開を図っているもので、鳥取県では日南町に続き2地区目となります。



オーガニックビレッジ宣言を行う吉田町長(左)と宣誓書(右)

八頭町では、現在9名が有機農業に取り組んでいますが、栽培技術や経営に関する知識を習得するための研修会を開催するなど、有機農業に取り組む人と農地の拡大を図っています。

また、学校給食への有機米の提供は、令和7年度の5日を11年度は140日まで拡大する目標を掲げているほか、町内の直売所や小売店に特設コーナーを設置、「八頭町マルシェ」への出店による知名度向上など、有機農業へ取り組みやすい環境を地域一体で整備していく計画です。



「八頭町マルシェ2025」で出店した八頭町オーガニックビレッジ推進協議会の様子

オーガニックビレッジの詳細については農林水産省のサイトをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/yuuki/organic_village.html



インフォメーション

米の生産者に向けた生産意向アンケートの調査結果について

農林水産省は今後の米政策を検討するに当たり、米の生産者（販売農家、農業法人その他経営体）を対象に、今後（来年・5年後・10年後）の米の生産意向等に関するアンケートを実施し、調査結果を公表しました。

【調査結果の概要】

1. 来年の生産については、回答者の3割が高い販売価格等を理由に「増やしたい」と回答。一方で、回答者の6割が「現状維持」と回答。4%が「減らしたい」との回答。
2. 5年後・10年後の生産については、「増産したい」と回答した者は5年後で32%、10年後で24%となり、その割合が減少。一方で、「減産したい」、「やめたい」と回答した者は5年後で11%、10年後で18%となり、その割合が増加。
3. 増産・生産継続を図る上での課題については、来年・5年後・10年後ともに、「労働力の確保が困難」、「機械装備の増強が困難」、「農地周りの管理が困難」、「米価の安定が必要」等の回答が多い。



詳細については、農林水産省のサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/attach/pdf/index-516.pdf>

※リンク先はPDFファイルとなっています。

中国四国農政局公式Xを開設しました！



中国四国農政局は公式X（旧Twitter）開設しました。
中国四国農政局管内の「食」と「農」に関する取組やイベント、地域の魅力、最新のトピックスなど盛りだくさんな情報をスピーディーにみなさまにお届けします。

ぜひフォローしてご覧ください！
https://x.com/MAFF_CHUSHI



クマにご注意下さい！

各地でクマによる人身被害が多発しています。
農林水産省では農業現場におけるクマ出没等に関する注意喚起リーフレットを公表しています。
農作業に当たっては、クマとの不意の遭遇に十分ご注意ください。



<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/tyuukanki/attach/pdf/index-15.pdf>

※リンク先はPDFファイルとなっています。

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 鳥取県拠点

〒680-0845 鳥取市富安2丁目89番地4 鳥取第1地方合同庁舎

TEL (0857)22-3131(内線613) <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>